

1年間のお礼と4月からの学校運営に関するお知らせ

保護者の皆様方には、1年間、本校の教育活動に対しまして、多大なるご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。13日に45名の3年生が立派に卒業していきました。卒業証書授与の際の呼名は、自身の3年間を物語る立派な返事でした。さらに、大勢から貰った授与後の「ありがとうございます」の言葉に、私は感無量でした。先程の修了式でも、それぞれの学年の代表者に「1年間、よく頑張りました」という気持ちを込めて、「おめでとう」の言葉を添え、修了証書を手渡したところです。本日の子どもたちの堂々とした姿からも、1年間の成長を感じることができ、喜びを感じています。また、子どもたちには次年度への期待を込めて、式辞で次のような話をしました。

1つめは、少し前に行われていたミラノ・コルティナオリンピックの日本人選手のコメントです。いくつか紹介します。スキー・ジャンプ二階堂蓮選手「たくさんの応援ありがとうございました。皆さまの応援のおかげで、3つのメダルを獲得することができました。今回の結果を糧に、4年後、次は金メダルを獲得できるよう精進してまいります」、スキー・フリースタイル堀島 行真選手「今大会、本当にたくさんの応援とサポートが僕をオリンピックという舞台まで連れてきてくれたと、感謝の気持ちが溢れる2週間でした」、スノーボード平野 歩夢選手「この度はたくさんの温かい応援を本当にありがとうございました。皆さまの声援が大きな力となり、最後まで挑み続けることができました」、フィギュアスケート三浦 璃来選手「団体戦、個人戦へのたくさんの応援、本当にありがとうございました。温かな声援の中で滑ることができ、とても幸せでした」、カーリング吉村 紗也香選手「皆さまたくさんの応援ありがとうございました。多くの方々に支えていただき、オリンピックの舞台で戦うことができ、とても幸せでした」です。共通な部分があることに気づきましたか？今回の日本人選手のコメントには、周囲への感謝の言葉が多かったのが特徴です。皆さんは誰かに何かしてもらった時に「ありがとう」の言葉が出てきていますか？人間関係を潤滑にするとともに、一生大切にしたい言葉です。そういえば、卒業証書授与の時に、多くの3年生が「ありがとうございます」と言葉を返してくれました。あの場で堂々と言えたことに、彼らの心の成長を感じ、私は感無量でした。

2つめは挨拶のことです。皆さんの70%以上の方が、「いつでも、誰にでも大きな声での挨拶ができる」と自信をもって答えることを重点課題の1つにしていました。3月に行った調査の結果は何%だったと思いますか？「自分から誰にでも大きな声で挨拶をすることができる」と答えた人が58.6%、「相手から声をかけられたら、大きな声で挨拶を返すことができる」と答えた人が24.1%、肯定率は82.7%と合格ラインを超えることはできましたが、「自分から誰にでも大きな声での挨拶ができる」と自信をもって答えた人は、残念ながら70%に届きませんでした。「ありがとう」と同じく挨拶も人間関係を潤滑にし、次の会話を生む重要な手段です。「明るく、いつ何時も、先に、ついでの一言」を意識した挨拶をこれからも心がけてほしいと思います。

さて、学校では今年度も様々な視点から教育活動を評価し、成果と課題を確認しながら、より良い仁尾中学校になることを願い取り組んで参りました。つきましては、4月(次年度)から以下の点につきまして、学校運営における変更を実施しますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- 卒業式は今年度から9時開始とする。
- PTA総会を次年度は4/25(土)の午前中に実施する。3校時にPTA総会と区別PTA、4校時に学級PTA、部活動PTA、部活動参観を行う。R9年度からPTA総会のデジタル決議、R10年度から金曜日の3~6校時開催に移行したい。
- 3~9月の部活動終了時間を17時30分とする。ただし、総体前は校内の規定にのっとり18時までの延長練習を認める。
- 1年生は体力的な負担が大きいため、運動会終了までは17時下校とする。
- 継続開催を条件として私立高校の説明会を復活する。
- 運動会については、土曜日開催に固定し、次年度は5/30(土)に行く。12:30までの下校完了を目標に、その在り方についても再考していく。
- 合唱コンクールについては、金曜日開催に固定し、次年度は10/23(金)に行く。午後から縮小した形か、従来の形で行うか、その在り方についても再考していく。
- 資源回収は土曜日に変更し、次年度は1/30(土)の予定。なお、R9年度からは11月最後の日曜日に変更したい。